

ふさととくぢ



1月16日
2月8日

伏野河川公園「てんぐ巣病剪定治療会」



目次

里山だより・とくとくマルシェ…2P
とくぢで輝く・じゃげな話…3P
行政だより…4P
行事カレンダー・図書館だより…5P
とくぢの拠点ができるまで
ふるさとへの軌跡・古民家のお客様…6P



(2022 年 1 月末現在)



表紙の写真から



またの名を「もめら」

出雲と八坂の地域づくり協議会で彼岸花を増やす取り組みを進めています。

この時期の彼岸花は葉っぱが頑張っています。普段注目はされませんが、この葉っぱが力強く繁って栄養を集めることで9月に鮮やかに咲きます。真っ赤に咲くのが楽しみです。



(地域づくり協議会)

伝統の徳地和紙づくり ～三桧・楮の皮剥ぎ～



2月1日、重源の郷で、毎年恒例の和紙の原料である三桧・楮の皮を剥ぎ取る作業をおこないました。郷内で育てた三桧・楮は紙漉き体験ができる体験工房「白波」で使用します。蒸らした枝からはバナナのようにつるっと皮がむけ、剥ぎ取った後の枝は白くすべすべで鹿の角みたいです。

(取材：河上特派員)



てんぐ巣病剪定治療会

1月16日と、2月8日に伏野河川公園で「さくらの守人」主催のてんぐ巣病剪定治療会が行われました。地域内外から約20名の参加があり、高所作業車も出動し、あっという間に桜の木がサッパリと美しくなりました。

(取材：徳地づくり達人塾、池田特派員)

「桜並」のコースジュ
前定した枝を使った



口ハス島地温泉



南大門



重源の郷



あたたかな木の温もりを身近に

木の香りや質感は、ストレスを和らげ、リラックス効果があります。木と深い関わりのある徳地ならではの、まな板や木槌や椅子等様々な手作り品が販売されています。また堀のバス停には、佐波分校の皆さんが作成したベンチが設置されており、乗降客をお迎えしています。



今月の特産品

木工



とく とく



【生産者情報】重源の郷の体験工房「匠」では、子供も楽しめる体験を受け付けており、14種類の中から選べます。また徳地木材を使ったオーダーも受け付けています。

とちぎで輝く

徳地で安心して暮らすために

徳地の公共交通を考えるプロジェクト



■徳地で安心して暮らすために

令和元年、将来に向けた徳地の交通を検討するため、徳地地域づくり協議会を中心にプロジェクトを立ち上げました。

市の関係部署や交通事業者、学校も巻きこんでのプロジェクトは、地域の声やバス利用者の声を集めることから始まり、交通の制度や先進事例などの勉強、知恵を出し合つての議論、更に解決案をたたき台にしての地域住民との話し合いなど、その活動は今日まで数十回を数えます。

課題や条件

交通弱者 運行ダイヤ
接続 運転士不足
予算 運行範囲 …



まちづくりとの連携

拠点施設 診療所
サッカー場 ロハス
南大門 …

地域交通の最適化

より良い生活環境の実現

■地域の資源を最大限活用する

①住民のための交通体系であり②市の計画との整合性が取れて③無理のない計画を立てるため、徳地地域が持つ資源である徳地生活バスを、より多くの住民を対象としたものに再編しようと知恵を絞りました。

一方で、地元の学校と連携したベンチ設置活動も行っています。第1弾は佐波分校生が堀のバス停に、第2弾の今年度は中高生が組み立てたベンチを小学生が色塗りました。子どもたちが「地域のために」と頑張る姿が私たちの活動を後押ししてくれました。

■ここからがスタート！

プロジェクトで出てきた考えを元に、市と事業者で生活バス再編案を作り、更に沿線住民のみなさんへのアンケートや説明会の内容も反映して、新しい徳地生活バスが、4月から走ることになりました。時刻表がこの広報誌と一緒に配布されますので、是非ご覧ください。

暮らしの中の不安が安心に変わるよう、また公共交通がその一助となるように今後にも利用啓発やダイヤ等の改善などの活動をしていきたいと考えています。

(徳地地域づくり協議会)

節分にクジラ飯



◆2月3日は節分

年に4回ほど、節分があるらしいの。」「へー、そりゃ、知らなかったわ」季節の変わり目ごとにあるらしいんじゃないけど。春のこの時期だけ行事が残っちゃうのそいゃ。「夏も秋も冬もなんかやりやあ、楽しからうのお」



下八坂上、乙女のパス停近くに人丸神社が祀られています。地域の人々は、この日に集まって火を焚き、鰯を焼いて食べます

◆山口県の節分には鯨を食べる

節分と言えば、「鬼は外、福は内」の豆まき、恵方巻にかぶりつき、というのは全国共通のようですが、ここ山口県では、鯨を食す風習があると聞きました。刺身、おばいけ、竜田揚げ、など何でもよいようです。

◆昨今、鯨を食べるのは金がかかる

へーでのお。鯨飯を買ってきたんちゃー。へたら、まーどこに鯨があるんかいのーちゅうぐらいでのお。鯨ちゅうたら、こまいころにや、安かったんじゃけど、この頃は、はーぶち高いのに、たまげるいのお。

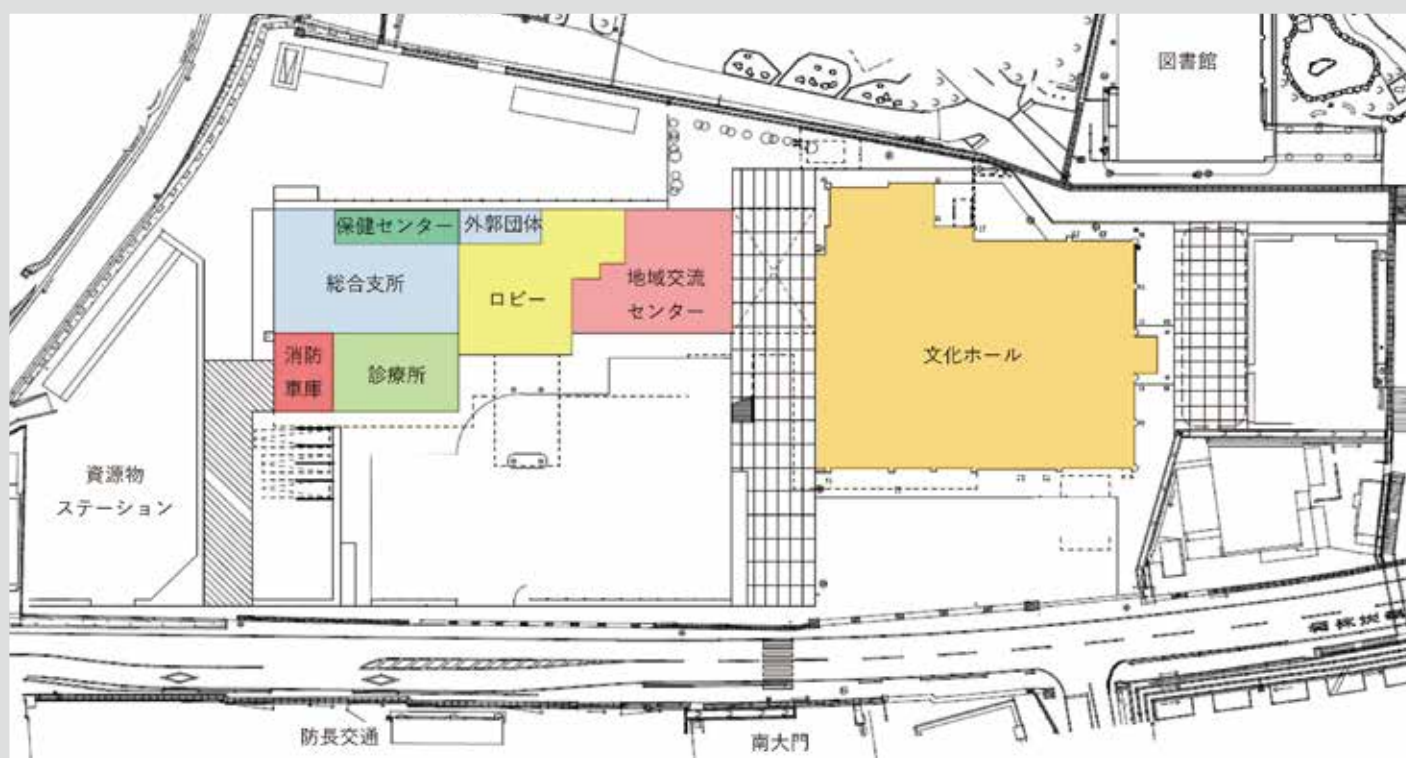
(執筆…池田特派員)



行政だより

徳地地域複合型拠点施設について

現在、建設中の「徳地地域複合型拠点施設の配置計画」をお知らせいたします。拠点施設には、総合支所、地域交流センター、保健センター、診療所、外郭団体、消防車庫を集約し、公共サービスのワンストップ化を図ることとしています。なお、供用開始は、令和4年秋頃を予定しております。



※この計画図は、令和4年1月時点のものになります

問合せ先 徳地総合支所 政策管理室 ☎52-1111

「口ハス島地温泉」がリニューアルオープンします！

昨年12月から一部休館としていましたが、浴室や朝市売場の改修工事を終え、

4月1日にリニューアルオープン

します。ぜひお越しください。

口ハス島地温泉 ☎54-4545



行事カレンダー

(3月15日～4月14日)

3月	16	認知症家族会（やすらぎの会）
	水	(問) 基幹型地域包括支援センター徳地分室 ☎52-0670
	27	出雲地区ラジオ体操・ウォーキング
	日	(問) 出雲地域づくり協議会 ☎52-0217
4月	7	健康相談 栄養相談併設（徳地保健センター）
	木	(問) 総合サービス課健康づくり担当 ☎52-1114

子育て支援センター

すくすくハウス予定 ☎52-0662

3月15日(火) 親子ヨガ

3月17日(木) たのしい食育

3月25日(金) たんじょう会

とくちの拠点ができるまで

来年度供用開始の

「徳地地域複合型拠点施設」建設風景記録。

各所にこだわりが感じられます(2月4日撮影)



富海の「藍」を混ぜて漉いた徳地和紙



窓側の作業台はイベント等の大量調理に大助かり

+ 休日・夜間診療のご案内(防府市内)

*山口市内は市広報に掲載しています。どちらも利用できます。

【内科・小児科】(受付 8:30～11:30、13:00～16:30)

防府市休日診療所(鞠生町) ☎0835-24-4172

【歯科】(受付 8:30～11:30)

防府市休日診療所(鞠生町) ☎0835-24-4172

【外科】当番医療機関(診療 9:00～17:00)

3月20日(日) 木村整形外科(岸津) ☎38-1181

21日(月) 寿町クリニック(寿町) ☎27-5577

27日(日) くらげ整形外科(田島) ☎25-0076

4月 3日(日) しみず医院(栄町) ☎38-8883

10日(日) たかきクリニック(台道) ☎33-1050

【夜間救急病院】(平日、休日にかかわらず)

病 院 名(場所)	電話番号	3月・4月の開設日						
防府胃腸病院(駅南町) ☎22-3339		15	20	25	30	4	9	14
桑 陽 病 院(車塚町) ☎23-1781		16	21	26	31	5	10	
緑町三祐病院(緑町) ☎22-3145		17	22	27	1	6	11	
三 田 病 院(お茶町) ☎22-1110		18	23	28	2	7	12	
松本外科病院(天神) ☎22-1409		19	24	29	3	8	13	

フォトギャラリー



高校の同級生
3人組

小古祖の河原で、テントサウナにバーベキューを楽しんでいる若い人を見つけました。徳地は、石風呂とテントサウナで賑わうようになるかもね。

◆◇図書館だより◆◇ ☎52-0043

【新しく入った資料】

- ◎文学 母の待つ里/浅田 次郎
- ◎一般書 防衛事務次官冷や汗日記/黒江 哲郎, 藤田 直央
- ◎実用書 パン & サンドイッチ/沼津 リエ
- ◎ティーンズ 介護福祉士になるには/渡辺 裕美
- ◎物語・児童書 あしたへの翼/中島 信子
- ◎絵本 ゆうきをだしてよ、ローガン!/ニコラ・キニア, くぼ みよこ

【企画展示】

- ◎今月のテーマ 本を巡るものがたり
- ◎絵本 おもしろいタイトルの絵本
- ◎一般 整える。
- ◎児童・ティーンズ 短いおはなしあつめました

【お知らせ】

雑誌の譲渡

4/12(火)～4/17(日)の間、2018年7月～9月までの雑誌を譲渡いたします。
期間内おひとり様15冊までです。
利用カード(お持ちでない方は、本人確認できるもの)を持参の上ご来館ください。

休 図書館 3月/21・22・24・28
休館日 4月/4・11

上記の行事につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容の変更、中止又は延期となる場合があります。詳しくは上記各行事の問合せ先にご確認ください。



古民家のお客様

カナダからきたケイトたち。よく地元の湖でカヌーや SUP をして遊ぶという話をしてくれた時、僕が佐波川でカヌーをやりたいんだけどやり方がわからない、と相談すると快く教えてあげるよ！と答えてくれました。早速佐波川にカヌーを持って行きカヌー体験。川から見る景色は電線や家が見えず自然に囲まれた景色でとても新鮮でした。外国人のおかげでいつも徳地の魅力に気付かされます。

ケイトは徳地がとても気に入ったらしく、徳地に移住したい！と言ってたまにカナダから連絡をくれます。
(超民家やまね)



今回で「古民家のお客様」はおしまいです。今はコロナで外国人は来れなくなりましたが落ち着いたらまた遊びに来てくれると思います。もし徳地で外国人を見かけたらうちのお客様かもしれません。その時は気軽にハローと声を掛けたら喜ぶと思います。徳地の美しさと皆さんの優しさのおかげでいつも外国人の方々は素敵な思い出を作っています。わたしたちもとても感謝しています。

>>> 写真や情報をお寄せ下さい <<<

地域の景色や行事など、あなたの知っている徳地の素敵など、人・モノの写真や情報を徳地地域づくり協議会まで情報をお寄せください。

※人物が主題の写真は必ず承諾を得てください。
※頂いた写真等は徳地地域づくり協議会で管理し「ふるさととくぢ」のほか「徳地地域づくり協議会 HP・FB」でご紹介させていただきます。



←二次元バーコードを読み取り、アドレス入力なしでメールできます



ふるさとへの軌跡

徳地の重源さん、奈良の重源さん

～奈良からの便り～

最終回「つながり」を知ってもらうために

新年早々うれしい出来事があった。山口市で重源さんを紹介する動画を作ることとなり、東大寺で撮影が行われたのだ。1月14日、山口から奈良にやって来たEさんとIさん。なんとEさんは、東大寺が初めてだとか。重源さんが再建した南大門で待ち合わせし、まずは東大寺別当さんのインタビューの収録へ。現別当の狭川普文師は、知識豊富でサービス精神の旺盛な方だ。とても深く面白い話をしてくださった。

続いて俊乗堂を特別に開けてもらっての撮影、最後に三笠霊園の一角にあるお墓へも案内した。重源さんのお墓は大仏殿の方を向いて建っている。今はすっかり木木が成長してしまっただが、少し前まではここから大仏殿が望めたことだろう。私たちを乗せてきたタクシーの運転手さんも一緒に並んで手を合わせ、夕暮れどきの墓所



を撮影させてもらった。翌朝は早朝から大仏殿での法要と南大門を撮影。お昼になる前に撮影班は京都の醍醐寺へと向かわれた。丸一日にも満たない強行軍の撮影にずっと同行させてもらった。社寺での撮影には必ず機材を置く敷物持参(建物自体が文化財であったり、お座敷に上がって撮影することが多々あるため)、仏像を撮影する前にはまずちゃんと手を合わせてから…などの「奈良の常識」が、山口の撮影班には思いもよらないことだったようだ。驚きつつ、同時に「ようやく奈良人らしくなってきたのかも」と少しうれしくもあった。

山口は私の生まれ故郷。そして奈良は第二の故郷。このふたつの大切な場所を結ぶ歴史が存在することに感謝しつつ、そのつながりを奈良と山口・徳地のみなさんにもっと知ってもらうため、誇りに思ってもらうために。微力ではあるがお役に立てれば幸いです。

(執筆：倉橋 みどり氏)